

1回戦 9時30分試合開始

	1回	2回	3回	4回	5回	計
斜里JC(北海道地区代表)	0	0	0	0	1	1
鳴門JC(四国地区代表)	1	3	0	3	2	9

1番	中神 智宏	⑧
2番	浦川 元宏	⑥
3番	山田 大二郎	①
4番	仲野 智也	③
5番	田中 教次	④
6番	三居 誠	⑦
7番	津田 聖二	⑨
8番	齋藤 瑛	②
9番	江戸 貴志	⑤
サブメンバー	友成 健	
サブメンバー	朝田 勝也	
サブメンバー	河野 伸児	
サブメンバー	中岸 修平	

オーナー	チュン 正義
監督	江戸 貴志
キャプテン	山田 大二郎
マネージャー	河野 伸児

バッテリー	
ピッチャー	三居 誠
キャッチャー	齋藤 瑛

試合短評

全国大会初出場、そして初戦ということもありメンバーも緊張は隠せない様子。しかし、初回から3番山田のタイムリースリーベースヒットで先取点。2回に4番仲野の2点タイムリー、5番田中のタイムリーヒットで一挙3得点。楽な展開に持ち込む。先発三居も回を追うごとに調子を上げ、終わってみれば9-1のコールド勝利。次戦は、昨年度優勝の近畿地区代表との対戦。

準々決勝 13時15分試合開始

	1回	2回	3回	4回	5回	計
滋賀BL協議会(近畿地区代表)	0	0	0	0	0	0
鳴門JC(四国地区代表)	4	0	0	3	×	7

1番	中神 智宏	⑧
2番	浦川 元宏	⑥
3番	山田 大二郎	①
4番	仲野 智也	③
5番	田中 教次	④
6番	三居 誠	⑦
7番	津田 聖二	⑨
8番	齋藤 瑛	②
9番	江戸 貴志	⑤
サブメンバー	友成 健	
サブメンバー	朝田 勝也	
サブメンバー	高島 正憲	
サブメンバー	河野 伸児	
サブメンバー	中岸 修平	

オーナー	チュン 正義
監督	友成 健
キャプテン	山田 大二郎
マネージャー	河野 伸児

バッテリー	
ピッチャー	山田 大二郎 → 三居 誠(3回~)
キャッチャー	齋藤 瑛

試合短評

初回から集中打を集め一挙4得点。3回からは、調子の良い三居に継投。全員の守備も良く、終始試合の流れが良い。4回にも集中打があり、1時間余りで5回コールド。最高の試合展開で終了。次戦は、一昨年優勝の九州地区代表と激突。

準決勝 14時30分試合開始

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
人吉JC(九州地区代表)	0	0	0	0	4	0	0	4
鳴門JC(四国地区代表)	0	0	0	0	0	2	0	2

1番	中神 智宏	⑧	
2番	浦川 元宏	⑥	
3番	山田 大二郎	①	
4番	仲野 智也	③	
5番	田中 教次	④	
6番	三居 誠	⑦	
7番	津田 聖二	⑨	
8番	齋藤 瑛	②	
9番	江戸 貴志	⑤	
サブメンバー	友成 健		
サブメンバー	朝田 勝也		
サブメンバー	高島 正憲		
サブメンバー	河野 伸児		
サブメンバー	中岸 修平		

オーナー	チュン 正義
監督	友成 健
キャプテン	山田 大二郎
マネージャー	河野 伸児

バッテリー	
ピッチャー	山田 大二郎
キャッチャー	齋藤 瑛

試合短評

徳島県大会、四国地区大会、全国大会と公式戦8試合目で初めての左ピッチャーとの対戦。
 若いピッチャーでコントロールも良く、打ち取られたり三振となる。4回終了まではなかなか塁に出ることが出来ない。
 しかしながら、こちらも全員で良く守り4回までお互い無失点。我慢比べの様相を呈する。
 5回表人吉JCが、2アウトランナー無しからヒットが出て、そこから長短打あわせて一挙4点を奪われる。
 ここからメンバーの目の色が変わり、江戸監督の指示もありヒットを連ねる。
 6回表、1アウト1塁をゲッツーで仕留めるビックプレーが飛び出す。
 試合の流れが初めて鳴門JCに。
 6回裏、試合の流れそのままに長短打を重ね2点を奪う。
 時間切れで試合終了の可能性もあったが、ギリギリで7回に突入。命拾いをする。
 7回表の攻撃を退け、最終回に突入。
 三居が、意地のヒットを放つ。ノーアウトランナー一塁。次の打者は津田。
 打った打球が、2メートルほどの高さでピッチャーとキャッチャーの間に簡単なフライで上がる。
 ワンアウト1塁かと思ったところ、キャッチャーが落球。
 そこからセカンドに転送アウト。ファーストに転送でダブルプレイ。まさかの展開に。
 しかし、8番齋藤がレフト前ヒット、9番江戸がセンター前ヒットで2アウトランナー1、2塁。
 最後まで脅威の粘りで追い込んだが、追い上げむなくゲームセット。